

公益社団法人 玉川法人会 「新年ご挨拶」

副会長 総務・財務委員長 平山 武司

新年あけましておめでとうございます。

当たり前にあった正月風景が一変して早2年、我慢と行動変容が求められる日々がまだ続きそうです。法人会活動も引き続き停滞を余儀なくされる場面も多く、財務的観点からも未経験の対応が求められています。

しかし今必要なのは首をすくめて嵐の過ぎ去るのを待つのではなく、今出来ることを探し、工夫をして取り組むことではないでしょうか。これから時代にふさわしい行動様式を取り込み、それにふさわしい予算立案・執行のあり方を追求し、会員にとってより有意義な法人会となるよう努めてまいりましょう。

皆様にとってこの1年が健やかで、満ち足りた時となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会長 組織・厚生委員長 松浦 政幸

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は会員の皆様による多大なるご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

今年度より組織委員会、厚生委員会の二つの委員会を担当致しております。厚生委員会の事業におきましては、会員の皆様のご協力により、絆プロジェクト、交流ゴルフ大会など全ての事業を開催することが出来ております。残る厚生事業と致しましては3月の健康診断のみとなりました。

一方の組織委員会では会員拡大事業として現在様々な取り組みを行っております。皆様のご協力を頂きながら支部、部会、推進委員と連携して進めていく所存でございます。

引き続き皆様方のご支援賜ります様お願い申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。

副会長 社会貢献・公益事業推進委員長 村田 宣政

新年あけましておめでとうございます。

再び、コロナ感染禍の波がきそうな日々ですが、いよいよ今年で二年目となりました。自制と行動変容を求められている日々がまだまだ、続きそうです。

法人会の公益事業も延期や中止を求められ、中止することの方が世のための様な風潮が自然に流れています。そして、コミュニケーションをとる人数制限の大変さと工夫も強いられています。

しかし、そんな中で、困難さに直面して、難しいとすぐ判断することは簡単ですが、法人会の良さを工夫して生かし、一人でも多くの方に法人会事業を理解していただく事が必要ではないでしょうか。

また、その前に、現在、法人会に加入されている会員にも深くご理解していただく事もより一層重要な事です。

本年は昨年と違い、より一層果敢に、公益、共益事業取り組んでいきましょう。

本年こそ皆様にとりまして、この1年が素晴らしい一年になりますように祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

副会長 会館建設推進委員長 大塚 繁夫

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナ感染症が収束しない一年となりましたが、感染や被害を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げます。新型コロナ感染症が早期に収束し、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

小生は昨年6月の総会で会館建設を担当する副会長を務めることとなりました。副会長として法人会に関わるのは4年ぶりになります。微力ではありますが法人会の発展に尽力する所存ですので、会員の皆様のご厚情を賜りたく宜しくお願ひいたします。

また、玉川税務署の皆様には、ご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げ年頭のご挨拶とします。

税制委員長 大島 光隆

新年明けましておめでとうございます。

税制委員会は、本年も

- ・公平な課税
- ・簡素な税体系
- ・税と社会保障の一体改革

等を柱として皆様の税に関する要望やご意見を税制改正に反映させるべく活動をしてまいります。

何卒、税制委員会の活動にご支援・ご協力下さいますようお願い致します。

今年は寅年、「発展の前触れ」の年であります。

皆様が、虎のごとく優美に力強く前進し、新しい時代を切り拓いて充実した年を迎られますことを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

広報委員長 清水 明洋

新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひいたします。コロナ禍において生活様式が一変する中、法人会活動も少なからず影響を受けています。その中で、法人会の広報、税制に関する情報等を会員皆様、地域企業様等より広くお伝え出来る様に、広報誌、会報誌、ホームページの活用について本年も委員会の皆様と議論して行きたいと思っております。会員皆様からのご指導、ご協力を頂きながら、委員会活動を進めてまいります。

本年もよろしくお願ひ致します。

昨年6月の役員改選において研修委員会委員長に就任致しました。多くの方々にご指導、ご協力を頂き本当に有難うございました。

本年におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されますが、その都度、臨機応変に対応し、法人会員であることの有益性を感じることができる研修事業となることをを目指し、各事業を推進していきたいと思います。

本年もよろしくお願ひ致します。